

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0501002

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	1 主体的な健康づくりの促進	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	食育推進事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	8 保育所 12 教育委員会教育振興課	
事業指標	規則正しい食生活に努めている人の割合	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	80%	関係例規・法令名	2 食育基本法・母子保健法	
住民参加 住民協働	1 食育推進事業の意見聴取	関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容
計 画 内 容	乳幼児期から成人期まで一貫的な食育に関する事業を推進することにより健康増進・生活習慣病などの予防と生活の質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育に関する個別相談事業</li> <li>・離乳食・幼児食教室の開催</li> <li>・食事バランスガイドの普及</li> <li>・健康食を体験する料理教室の開催</li> <li>・町内栄養関係者連絡会議の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育に関する個別相談事業</li> <li>・離乳食・幼児食教室の開催</li> <li>・食事バランスガイドの普及</li> <li>・健康食を体験する料理教室の開催</li> <li>・町内栄養関係者連絡会議の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育に関する個別相談事業</li> <li>・離乳食・幼児食教室の開催</li> <li>・食事バランスガイドの普及</li> <li>・健康食を体験する料理教室の開催</li> <li>・町内栄養関係者連絡会議の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育に関する個別相談事業</li> <li>・離乳食・幼児食の講話</li> <li>・食事バランスガイドの普及</li> <li>・健康食を体験する料理教室の開催</li> <li>・町内栄養・学校保健関係者連絡会議の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育に関する個別相談事業</li> <li>・離乳食・幼児食教室の講話</li> <li>・食事バランスガイドの普及</li> <li>・健康食を体験する料理教室の開催</li> <li>・町内栄養・学校保健関係者連絡会議の開催</li> <li>・学校児童・生徒対象食育事業</li> <li>・保育所児童対象食育講話、調理体験事業</li> <li>・保育所児童保護者対象食育講話他</li> </ul>
計 画 事 業 費	事業費(千円)	670	165	115	165	115
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	670	165	115	165	115
実 績 事 業 費	事業費(千円)	305	25	41	93	77
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	305	25	41	93	77
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)	【評価・実績】	(実施内容等) 離乳食・幼児食教室他 181件 乳幼児健診等個別相談 366件 栄養教室8回 198件 計745件	(実施内容等) 離乳食・幼児食教室他 142件 乳幼児健診等個別相談 224件 栄養教室9回 310件 計676件	(実施内容等) 離乳食・幼児食教室他 160件 乳幼児健診等個別相談 251件 栄養教室9回 417件 計828件	(実施内容等) 乳幼児・児童栄養教室 202件 乳幼児健診等個別相談 326件 成人対象栄養教室 106件 計634件
			※前年度評価結果 B-継続/拡充	※前年度評価結果 B-継続/拡充	※前年度評価結果 A-継続/拡充	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値	食育事業参加者の増	食育事業参加者の増	食育事業参加者の増	食育事業参加者の増
		年度達成率	15%	36%	56%	67%
		全体達成率	4%	10%	24%	35%
		事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	食育推進事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	佐々木 希美枝

平成24年度実施  
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	食育関連事業参加者数、望ましい生活習慣の獲得								
【抱える課題やニーズは】	生活習慣病予防と食の充実により生活の質(QOL)を向上する	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	生活習慣病等を予防するとともに、楽しみや潤いがある地域特性に合った食生活を実現する	① 食育関連事業参加者数の増(平成23年度実績634人)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>634人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>769人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>121.3%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	634人	実績値	769人	達成度	121.3%
目標年度	平成24年度										
目標値	634人										
実績値	769人										
達成度	121.3%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	生活習慣病予防と食生活の充実をととして生活の質(QOL)の向上を実践できる町民が増える	② 21時までに就寝する3歳児の割合(平成23年度実績8.7%)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>8.7%</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>25.7%</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>295.4%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	8.7%	実績値	25.7%	達成度	295.4%
目標年度	平成24年度										
目標値	8.7%										
実績値	25.7%										
達成度	295.4%										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	食育に関する健康学習の実施	乳幼児相談・保育所児童を対象とした食育講話、成人対象の栄養改善教室・調理実習等集団支援を行った。									
	個別栄養相談の実施	乳幼児健診、家庭訪問等により町民各自の食生活状況を把握しながら個別相談を行った。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	食育・栄養改善に関する課題は、生活習慣病予防と生活の質(QOL)の向上など幅広くニーズがあり、重要性とともに必要性が高い事業であると考えます。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	事業内容の見直し等により、目標を達成することができた。食生活の現状や課題は個別性が高いため、今後もきめ細やかな事業展開を図ることで有効性を向上していく事とする。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	食材、食品モデルは実物を用いることが多かったが、保存方法の工夫によりコスト削減に努めた。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

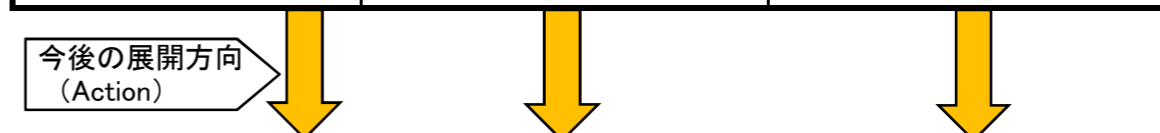
公平	判断の理由	受益者負担はないが、食育の基盤づくりの上で重要な時期である乳幼児期の児童・保護者から成人期まで広く事業を展開することができた。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
食生活は特に個別性の高い課題であり、個別支援を中心に事業を実施し目標を達成することができた。		



継続/現状維持		
生活習慣病予防、健康増進を図る上で食育上の課題の占める割合は高く、今後も事業内容を工夫しながら積極的に事業を進めていく。		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止